

定例市長記者会見録

日 時：11月21日(金) 午後1時15分～1時45分

場 所：本庁舎6階 特別会議室

出席者：一宮市 中野市長、福井副市長、山田副市長

報道機関 朝日新聞、中日新聞、読売新聞、時事通信社

本日の案件は4件です。

1番目は「観光資源周辺での建築許可基準を新しく制定します」についてです。

一宮市は面積の3分の2が市街化調整区域で、その区域では基本的に都市計画法の許可がなければ建築ができません。8月に国土交通省から木曽川サイクリングコースを「木曽川中流域自転車で繋ぐかわまちづくり計画」として登録していただきました。これから木曽川を盛り上げていきますが、現状は市街化調整区域が多く、休憩所や飲食店、土産物店などといった観光系の施設がほとんどありません。市で施設を整備する選択肢もありますが、できれば民間企業の投資も呼び込めたらと思い、今回新しくルールを設けることにしました。愛知県内で同様の許可基準を設けているのは、犬山市・田原市・西尾市の3市ですが、一宮市も後に続いて観光を盛り上げていけたらと思っています。観光資源としては、木曽川だけに限定せず、歴史・伝統・文化・産業などで、今は体験できる産業観光もありますので、いろいろなものを考えていただけたらと期待しています。

施行は年明けの1月1日（祝）になります。

2番目は「小学校の体育館にもスマートロックを導入します」についてです。

今年の3月、市立中学校の全ての体育館と中学校5校の武道場にスマートロックを設置しました。それまでは土日や夜間などに施設を使用する際は、鍵を預かっていただいている管理人の家へ行き、許可証を提示して鍵を受け取り、施設の使用後に管理人に鍵を返す必要がありました。このスマートロックでは、事前にスマホなどに送信された暗証番号だけで解錠でき、鍵の受け渡しが不要なことからお互いの労力・コストを減らすことができます。なお、物理的な鍵も残していますので、電源や機器のトラブルがあった時にも対応できるようにリスクヘッジもしています。

今回は、12月に市立小学校42校の全ての体育館と、前年度に導入できなかった残りの中学校11校の武道場にスマートロックを導入するものです。利用対象は市に登録しているスポーツ団体や地域クラブで約400団体です。

利用者が鍵の受け渡しをしなくて済み、小中学校の体育館が空いているときに手間なく利用していただけるため、開かれた学校として公共施設の稼働率が上がることを期待しています。

3番目は「防犯シティ“いちのみや”大作戦～防犯用具購入費補助の申請期間を延長

します～」についてです。

現在受け付けしている、防犯カメラやセンサーライトといった防犯用具の購入費補助の申請期間を延長します。当初予算では11月30日（日）までを購入対象期間に設定していました。10月末時点で1,351件の申し込みと大好評をいただいているので、本補正で増額することにしました。

防犯用具の効果については、愛知県警察の統計によると今年の1月から10月の住宅対象侵入盗は、県内全体が1,156件で約8.9%増と1割ほど増加していますが、一宮市内は67件で前年と比較すると約14.1%減少しています。県全体では侵入盗が1割弱増加しているのに対し、一宮市では1割以上減少しており、効果が出ています。この火を絶やすことなくより多くの市民の皆さんに防犯意識を持っていただこうと、購入および受付期間を年明け1月30日（金）まで延長し、予算額を増額することを市議会に提出させていただきます。

4番目は「令和7年度12月補正予算（案）に計上された主な事業」についてです。

12月議会に提出する議案となります。

No.1 「防犯用具購入費補助金の増額」

先述の議題3の内容です。

No.2 「かわまちづくり推進事業」

木曽川におけるサイクルツーリズムの実施にあたり、本予算額1,700万円のうち半分弱が国から交付金されます。それを活用して、名鉄木曽川堤駅の近くの北方広場にトレーラーハウスを設置して、サイクリストたちの休憩場所や、交流の場になるよう社会実験・イベントを行います。

No.3 「医療過誤に係る損害賠償金」

会見後に担当課からご説明させていただきますが、裁判外での和解金として損害賠償金2,550万円をお支払いします。

No.4 「下水道100周年記念事業として新しいマンホールふたデザインを募集」

2026年度は一宮市の下水道が100周年を迎えます。そこで来年度にマンホール蓋のデザインを全国から募集します。

No.5 「財政調整基金積立金」

今回の一般会計補正予算約29億円のうち28億円と大きく占めていますが、財政調整基金に積み立てます。昨年度末、財政調整基金は75億円積み上がっていましたが、今年度が始まるにあたり47億円を取り崩しました。なんとか75億円程度に戻したいと思い、今回28億円を積むことで64億までは積み戻せる見込みです。75億円までもうひと息ですが、一方で世間では積極財政ということが言われ、あまり積み立てると「地方は余裕があるのではないか」と標的になりやすいので、アクセルとブレーキをうまく踏み分けていきたいと考えています。

12月補正予算（案）は以上で、次に単行議案です。いくつかありますが、私からは一

つだけご紹介したいものがあります。

議案第 106 号「一宮市遺児手当支給条例の廃止について」

条例の廃止というタイトルだけではサービスダウンに見えますが、新しく規則を制定して、しかも業務を見直すことで、遺児の保護者に対して支払う金額を増やす内容になっています。現在は年間 2 万 4,000 円を一人親家庭も含めたご家族に支給しています。対象は約 4,000 人で、これまで 2 カ月に 1 回 4,000 円ずつの振り込み作業をしていましたが、1 年分の 2 万 4,000 円を 1 回にまとめて振り込むことで、システム管理や振込手数料などが浮きます。浮いた分について、年間の支給額 2 万 4,000 円は変えませんが、中学校や小学校に入学される際の入学一時金を従来の 1 万円から 2 万円に増やすことにしました。

私からの説明は以上です。

質疑応答

■観光資源周辺での建築許可基準を新しく制定します

(記者) 出店を考えている事業者に向けてのアピールポイントはありますか?

(市長) 国土交通省から「かわまちづくり計画」として公式に登録されましたので、サイクリストのお客さんがますます増えることが見込まれます。一宮市のみならず、稻沢市・江南市・犬山市・木曽川沿線の自治体とも連携して取り組んでいますので、大きな視点から一緒に盛り上げていただける事業者が声を上げることを期待しています。

(記者) 出店は市内の事業者に限りますか?

(市長) 限っていないです。

(記者) 木曽川と接している長さは、18 km と県内で最長ですが、どうアピールするのですか?

(市長) 「トカイナカ」というときの田舎の売りです。その田舎の良さとして、木曽川沿いの魅力を磨き上げていきたいと思って取り組んでいます。

(記者) このエリアは特に足りていないところはありますか?

(市長) 木曽川町内で、野球グラウンドや民間利用の土地があり、サイクリングロードがつながっていない部分があります。なんとか合意形成を図りながらつなげていきたいです。

(記者) 許可にあたって、議会が関与する手続きはありますか?

(職員) 都市計画法 34 条 2 号の許可で議会が関与することはありません。

■小学校の体育館にもスマートロックを導入します

(記者) 予算はすでに組んであるのですか?

(市長) 当初予算で計上しています。市立小学校の全ての体育館 42 校と中学校で未設置の

武道場 11 校の合計 53 カ所で約 3,000 万円を使っています。1 校あたり 60 万円弱です。

(記者) 初めが中学校で次に小学校と、導入を 2 段階に分けた理由はありますか?

(市長) 新しいことをする場合に、まずはスマートスタートということがあります。昨年度 24 カ所実施して、今年度が 53 カ所ですから、初年度の気付きの問題点・改善点が生かされると思っています。

次の展開として、市の公民館や公共施設など、すでにネットワークが構築されている建物にはすぐに導入できると思っています。ただ、電源・電波・ネットワークのない無人のスポーツ施設やテニス場は、費用対効果の面から難しいと思っています。

(記者) 中学校などのテニスコートは?

(市長) テニスコートを開放している小中学校もありますが、スマートロックを導入する予定はないです。

■一宮市議会 12 月定例会単行議案

議案第 106 号「一宮市遺児手当支給条例の廃止について」

(記者) 遺児一時金の増額が実施されるのは、来年度 4 月に入学される方が対象ですか?

(職員) 今年度分の支給については従来どおりで、変わりありません。来年の 3 月から 12 月までの 10 カ月分を 2027(令和 9) 年 2 月に 1 回で支給します。入学一時金が 1 万円から 2 万円に増えるのは、2027(令和 9) 年 4 月に入学される方が対象となります。

(記者) 対象者は、一人親家庭も含めて約 4,000 人ですか?

(市長) はい。市内に小学生が約 2 万人、中学生が約 1 万人いますが、一人親のご家庭を入れて約 4,000 人が対象となります。

(記者) 今まででは、かなりの手数料を使って送金していたのですか?

(市長) 1 回の振込額 4,000 円に対し何百円という手数料は、事務費の割合としては高いと思っています。予算の中でも事務費は結構な額となっており、市民に行き渡る真水が少ないと感じています。